

EWA 社 Blackhawk 560b TI 社 Code Composer Studio 用ドライバ インストールガイド

第 15a 版 2013.7



ROINOS

複製禁止

株式会社 ロイノス DSP 開発ツール

Tel 053-762-3681 Fax 053-762-3682

URL : www.roinos.com Email : tool@roinos.com

目次

1. まえがき	1	8. CCS セットアップに関する役立つ知識.....	9	
2. システム要件	1	8.1 GEL の利用 (CCS Ver3.x 対応のため) ...	9	
3. 取り扱い上の注意事項と保証期間	1	8.2 DSK、eZdsp 用のパッチ	9	
4. 梱包内容	2	8.3 マルチコアプロセッサについて	9	
5. Code Composer Studio のインストール	2	9. Setup CCS	10	
5.1 CCS Ver4 あるいは Ver 5 の場合	2	9.1 CCS Ver3.3 の場合	10	
5.2 CCS アップデートソフトの入手.....	4	9.2 CCS Setup の import で行う (CCS Ver	3.x).....	11
5.3 CCS Ver3.3 の場合	5	10. 汎用的ボードの具体的設定 (CCS3.3 の例) ..	12	
6. デバイスドライバのインストール	6	10.1 DSK C6713 の場合	12	
6.1 CCS Ver4 あるいは Ver5 の場合	6	10.2 DSK C6416 の場合	12	
6.2 CCS Ver3.3 の場合	6	10.3 EVM DM642 の場合	12	
6.3 ロイノス編集 CD の場合	7	10.4 EVM 6201 / 6701 の場合	13	
7. Blackhawk560b の認識	8	10.5 DSK C5510 の場合	13	
7.1 Windows xp,2000	8	10.6 DSK C5416 の場合	13	
7.2 Windows 7	8			

10.7 SR-MK2 の場合	13
10.8 eZdspF2812 の場合	14
10.9 eZdspF2808 の場合	14
10.10 eZdspLF2407 の場合.....	15
10.11 eZdspF28335 の場合	15
10.12 OMAP5912 OSK の場合	16
10.13 EVM DM6437 の場合	17
10.14 EVM DM6446 の場合	17
10.15 DSK C6455 の場合.....	18
10.16 C672x の場合(EVM 6727 の例).....	18
10.17 EVM DM355 の場合	19
10.18 OMAP3530 の場合	19
11 汎用的ボードの具体的設定(CCS3.1 の例)....	21
11.1 DSK C6713 の場合	21
11.2 DSK C6416 の場合	21
11.3 EVM DM642 の場合.....	21
11.4 EVM 6201 / 6701 の場合	21
11.5 DSK C5416 の場合	21
11.6 DSK C5510 の場合	21
11.7 eZdspF2812 の場合	21
11.8 eZdspF2808 の場合	21
11.9 eZdspLF2407 の場合.....	21
11.10 OMAP5912 OSK の場合.....	21
11.11 C672x の場合(EVM 6727 の例)	21
12. CCS Ver4 あるいは Ver5 以降の設定方法 ...	21
12.1 CCS のインストール	21
12.2 デバイスドライバについて	21
12.3 Blackhawk560b の認識.....	21
12.4 Blackhawk560b の認識(Winodws 7)	22
12.5 Target Configuration.....	23
12.6 接続について	24
13. 補足説明	25
13.1 JTAG コネクタの形状が合わない	25
13.2 JTAG クロック周波数可変機能.....	25
13.3 エミュレータのリセット.....	25
14. 故障対応	26

1. まえがき

EWA 社エミュレーションシステムとテキサス・インスツルメンツ社 Code Composer Studio を組み合わせることで実機のエミュレーションを行うことができます。テキサス・インスツルメンツ社の TMS320 ファミリーをサポートしています。

システムの特徴は次の通りです。

- ▲ C6000,C5000,C2000,DaVinci,OMAP,ARM のエミュレーション。
- ▲ USB 1.0, 1.1 , USB2.0 ポートでの使用
- ▲ 1V から 5V までのターゲット I/O 電圧に自動対応
- ▲ 最適な JTAG クロック周波数の自動選択

本書では Code Composer Studio を CCS、テキサス・インスツルメンツ社を TI と称する場合があります。

2. システム要件

本書は、EWA 社のエミュレータ Blackhawk560b と TI の CCS、JTAG 接続の DSP ターゲットボードを使用する方を主な対象としています。ホストパソコンに必要な条件は次の通りです。

- ▲ CCS Ver2.2 以降、Ver3.x、Ver4.x
(本書には Ver2.2 に関する解説は記述されていません、必要な場合は旧版のマニュアルをご覧ください。サポート契約中のユーザー様には無償でお送りします。)
- ▲ Windows 7 / Vista / xp / 2000 / 98 / Me
Me や 98 をサポートしていない CCS のバージョンもありますので CCS の仕様をご確認ください。
- ▲ USB 1.0, 1.1 , USB2.0 ポート 1 個
Blackhawk560b は USB2 のインターフェイスを持ちます。USB1.1 の端子に接続しても十分な性能でご使用いただけます。

3. 取り扱い上の注意事項と保証期間

製品は、実用性を踏まえつつ設計されておりますが、機構上長期間に渡る機械的負荷で損傷を受ける個所がございます。製品を長期にわたって安心してお使いいただけますよう、製品には**機械的衝撃を与えない**、**ケーブル部に機械的応力(張力、荷重、ねじれ力)**をかけないようにお願いします。

ターゲットの電源とホスト PC の電源はできるだけ近くからとり、フレームグラウンドの電位差が発生しないようにして下さい。電位差がある状態で JTAG の端子を挿抜しますと、機器が破壊されるおそれがあります。

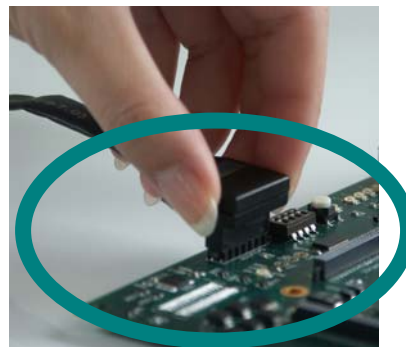
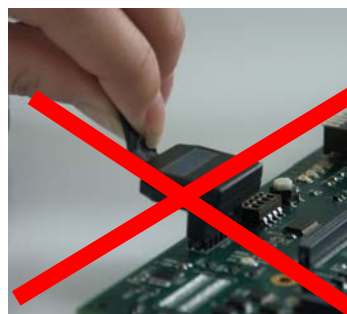
また、大電流を扱う機器、力率の悪い機器と AC を共用する環境では、フレームグラウンドの電位差による**循環電流を流さない**ようにホストパソコンとターゲットボードのグラウンドは POD とは別に**導線で常時接続**することをお勧めします。

また、製品の保証期間は一年間で、その期間内に正常な使用状況において故障した場合には修理は無償です。その期間を過ぎた場合には有償の修理となります。

ロイノスでは 1 年を超えた後でも、有料にて年間サポートを承っております。詳しくは弊社の web あるいは営業までお問い合わせ下さい。

製品の構造上、JTAG コネクタの部分の接続が割と弱く、コネクタの挿抜の際にケーブルを引っ張るとコネクタ内部で接触不良が起き、CCS の動作が不安定となります。

かならず JTAG コネクタのシェルをつまんではずすようにしてください。



(写真は Blackhawk560b ではございません)

4. 梱包内容

製品の箱の中に以下のものがある事をお確かめ下さい。

(1) マニュアル

本書および英語のクイックスタートガイド

(2) ドライバ CD (メーカー提供)



(3) エミュレータ本体と USB ケーブル



(4) TI 2.54mm ピッチ 14 ピン用アダプタ

従来から用いられてきた 2.54mm ピッチ 14 ピンのターゲットに接続するために JTAG ケーブルの先端に追加するものです。



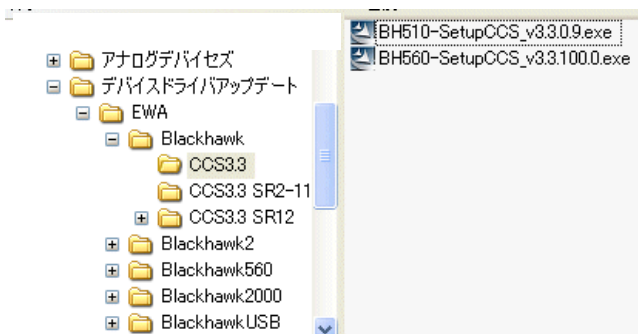
(5) ロイノス編集 CD

場合によってデバイスドライバの修正版などのファイルをご提供する場合があります。(入っていない場合は必要の無いパッケージです。)



2011年5月現在の最新のドライバが入っています。

(CCS Ver4,5 用は CCS のインストールメディアに含まれています。)



5. Code Composer Studio のインストール

CCS をインストールしていない場合はインストールします。CCS をすでにインストールしている場合、本章は読み飛ばしてください。

いずれのバージョンにおいても、TI の web にアクセスし、ユーザー登録およびサービスコードを登録してアップデートアドバイザ機能が利用できるようにしてください。アップデートアドバイザ機能によって、今後必要になるであろうアップグレードソフトを入手できるようになります。TI ではこれをサービスリリース(SR)と読んでいます。

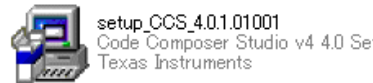
注意 インストールは管理者権限でおこなってください。

注意 インストール時はウイルスチェックソフトの動作を停止させるか、アンインストールしておいてください。そのままにしておくとプロジェクトのビルドができなくなる場合がありますので。

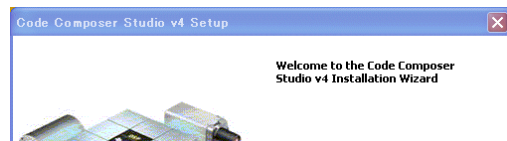
5.1 CCS Ver4 または Ver 5 の場合

DVD-ROM もしくはバージョンアップの権利を利用して入手したダウンロード済みファイルを実行してインストールして下さい。(下記説明は Ver4 です。)

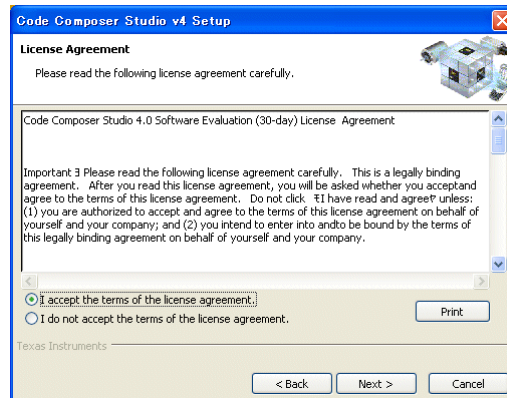
(1) 例えばダウンロード版の場合は下記の実行ソフトを開始して下さい。



(2) Welcome の画面では **Next>** を押して下さい。



(3) License agreement 画面では内容をご確認の上 **I accept...** を選んでから **Next>** を押して下さい。



(4) Choose Installation Location では CCS のインストールフォルダを決定の上 **Next>** を押して下さい。